

平成13年度 第12回 省エネ大賞  
応募申請書

平成13年 月 日

財団法人 省エネルギーセンター

会 長 那 須 翔 殿

(申請者)住 所

会社名等

代表者名

印

(申請者)住 所

会社名等

代表者名

印

(申請者)住 所

会社名等

代表者名

印

平成13年度 省エネ大賞に下記のとおり申請いたします。

応募機器・システム名

商品名「

」

区分 ・ 特定機器 (品目 \_\_\_\_\_)

・ 家庭用部門 業務用部門 自動車部門 (該当に 印 区分は応募要領を参照)

・ 中小企業 (個人及び中小企業者の方は 印)

注: 中小企業とは、中小企業基本法等で定められた該当者

省エネルギーセンター受付

事務局

受付年月日

平成 年 月 日

分類番号

-

-

連絡先

連絡先 (グループの場合 この欄は 代表者)	申請会社名	
	担当者所属の部署	
	担当者(役職)	
	所在地	〒 TEL ( ) FAX ( )
会社概要 (業種・主な生産品 創立年月、資本金 従業員数、事業内容)		
連絡先	申請会社名	
	担当者所属の部署	
	担当者(役職)	
	所在地	〒 TEL ( ) FAX ( )
会社概要 (業種・主な生産品 創立年月、資本金 従業員数、事業内容)		
連絡先	申請会社名	
	担当者所属の部署	
	担当者(役職)	
	所在地	〒 TEL ( ) FAX ( )
会社概要 (業種・主な生産品 創立年月、資本金 従業員数、事業内容)		

申請の機器・システムを製造・組立・試験している事業所・所在地

事業所・建物名	
所在地	〒 最寄り駅 JR・私鉄 線 駅(東京駅から約 時間 分)
連絡箇所	部署 TEL ( ) FAX ( )

## 技術開発説明用資料

### 1. 技術開発の目的と経過

注：用途、原理、開発の背景、社会のニーズ、目的等を記載して下さい。

### 外観・構造図

## 2.仕様（性能・エネルギー消費量、エネルギー利用率、特長）

2.仕様については、下記により記載して下さい。

- (1)性能、エネルギー消費量はJIS等の試験条件測定値や、工場、試験所の実測データとその実施時期、方法等の資料を添付して下さい。
- (2)エネルギー利用率.....成績係数、燃焼効率、特定機器対象機種は定められた消費効率を記載して下さい。
- (3)仕様にもとづく型式がある場合は型式を記載すること。

### 3．技術開発の内容

#### (1) ハード面

#### (2) ソフト面

### 4．省エネルギー性

3．技術開発の内容については、下記により記載して下さい。

- (1)ハード面；素材の開発、省エネ新規要素技術、機材・形状の小型化、要素機材の構成方式の改良、構造の改良等の技術開発。  
ソフト面；運転制御法、部分負荷制御法等制御技術の開発及び自然エネルギーとの組み合わせ補完技術
- (2)当該開発技術による省エネルギー性への寄与・貢献（低減されたエネルギー消費量、及び省エネ率、機器・システム全体への寄与率等）を定量的に記載して下さい。

4．省エネルギー性については下記のようにできるだけ具体的定量的に記入して下さい。（判る範囲で記載して下さい）

- (1)原材料エネルギー低減率（代表する3種類の素材量の低減とそれぞれの製造エネルギー原単位から計算した値）  
素材名、低減料（kg/台）×エネルギー原単位（kl/kg）、=省エネ量（kl/台）
- (2)製造エネルギー低減率（製造プロセスにおける消費エネルギーの低減量）  
貴社従来機種及び競合他社の類似機種との比較
- (3)当該機器寿命の延べ時間  
1回の平均使用時間×使用回数； = 時間  
または 年平均負荷率×年数×8760； = 時間
- (4)使用時の省エネ性又は効率の向上（負荷/効率特性）・特定機器は性能を確認した試験法などの準拠を記載して下さい。
- (5)排熱等の利用機能

注 省エネルギー性は審査の重点項目となります。

特定機器に関しては、使用時の省エネ性に関する定量的比較を競合他社の類似機種の最新型との比較について記載して下さい。

待機電力について該当する値＝（W）又はその省電力性を記載して下さい。

記載はA4フルサイズの枠にして記入して構いません。

(省エネルギー性のつづき)

## 5. 省資源性・リサイクル性

5. 省資源性・リサイクル性については下記のようにできるだけ具体的定量的に記入して下さい。(判る範囲で記載して下さい)

- (1) 素材使用量の減少率
- (2) 小型化、軽量化、省スペース化などの程度
- (3) リサイクル率(部品リサイクル率、素材リサイクル率、再生加工製品リサイクル率)
- (4) 回収の技術的難易性
- (5) 回収コスト又は回収材の価格評価
- (6) 残存廃棄物の処分法

注 省資源性の中には、使用水量の低減及び消耗品類(紙・薬品・機材等)の使用量の減少も明記して下さい。水のリサイクル使用もあれば言及して下さい。  
記載はA4フルサイズの枠にして記入して構いません。

## 6．独創性（どの部分に独創性があるか）

## 7．商品性・市場性・経済性

## 8．環境改善性・安全性

6．独創性についてはどの部分に独創性があるか下記の点を記載して下さい。

- (1) 基礎・基盤技術か、主要構成部分の技術か。
- (2) 周辺技術か、実用化技術か。

7．商品性・市場性・経済性について下記の点を記載して下さい。

- (1) ニーズへの適合性、民生用として日常の必要性の程度
- (2) 市場におけるライフサイクルタイム・年数（次期改良機種が発売される期間）
- (3) 市場の規模（競合他社製品を含めて、輸出を含み年産台数、年販売額予測）
- (4) 省エネ効果によるコストアップ分・価格アップ分・据付工事費アップ分の省エネ効果による償却月数
- (5) 発売（予定）価格を必ず記入（オープン価格の製品は、販売予想価格を記入）

8．環境改善性・安全性について下記の点を記載して下さい。

- (1) 工夫及び配慮されている点（地球温暖化防止貢献などを含む）
- (2) 有害排気、廃棄物の処理等の改善。
- (3) 製造プロセスにおける環境保全対策等（ISO14000関係）

注 独創性の中に、技術開発の着眼点、新規性、アイデア等の他に、寄与率は高くないが画期的な技術が追加されている点は、従来技術と比較して明記して下さい。

当該独創技術による省エネルギー性への貢献度（作用効果及び省エネルギー率向上、等）を記載して下さい。

商品性には応用分野を含めた普及見込みを記載し、予定製造年数及び年次生産見込み台数（輸出分を含む）を記載して下さい。

記載はA4フルサイズの枠にして記入して構いません。

9. その他

(1) 特許、実用新案等の取得状況（国内、国外を問わず取得済及び申請中のもの）

(2) 文献等への発表状況（文献名、発表年月日等）

(3) 受賞歴の有無（表彰を受けた機関、団体名、年月日、表彰種類等）

(4) 販売状況等（販売実績のあるものは販売開始年月日、過去3カ年の販売実績（国内・国外）提出日現在の販売価格。販売予定見込みのものは開始予定年月日、予定価格）

注 上記1～9の項目で記入できない場合は、別に添付資料を付け加えて結構です。（A4判で作成願います）  
応募機器・システムのパンフレットがあれば添付して下さい。

応募機器・システムの概要（要約版）（2頁とします）

<p>応募機器 ・システム名</p>	<p>「商品名」</p>	<p>外観・構造（図、写真の縮小複写）</p> <div style="border: 1px solid black; height: 200px; width: 100%;"></div>
<p>申請会社名 (共同申請会社 も記載)</p>	<p>・ ・ ・</p>	

(1) 用途・原理・特長

(2) 仕様（性能・エネルギー消費量）

(3) 技術開発

ハード面

ソフト面

(4) 省エネルギー性

(5) 省資源性・リサイクル性

(6) 独創性

(7) 市場性・商品性・経済性

(8) 環境改善性・安全性

(9) その他

- ・ 特許・実用新案の取得
- ・ 受賞歴
- ・ 販売状況（販売開始時期）

事務局記入事項：

平成13年度 第12回 省エネ大賞  
応募予定票

(FAX送信票：03-5543-3021)

平成13年 月 日

財団法人 省エネルギーセンター

会 長 那 須 翔 殿

(代表申請者) 住 所

会社名等

代表者名

平成13年度 省エネ大賞に応募を予定しており、下記の機器の申請書を準備中  
です。

応募機器・システム名；

(商品名、型番等)

(概要；20字程度)

1．特定機器 2．家庭用機器 3．業務用機器 4．自動車 5．中小企業

(該当番号に 印を付けてください。区分は応募要領を参照)(複数可)

本件の連絡先；担当者氏名：

印

(所属、役職名

)

TEL

FAX

E-mail；

FAX送付先；(財)省エネルギーセンター 技術部 FAX 03-5543-3021

事務局(問い合わせ先；技術部 根橋 郁敏 電話 03-5543-3020)

受付年月日； 年 月 日

事務局記入：

本FAX送信票は平成13年7月12日(木)までに送付して下さい。